

カバーについて

カバーは布製品のため、伸びや傷みが発生いたします。目安としては5~7年程度での交換を推奨しております。スタッフの経験上、少なくとも7~10年でカバーを交換していただければソファ本体への負担も軽減し、より長く快適にご使用いただくことができます。

布製カバーのお手入れや注意事項については、別紙の「布製ソファお手入れシート」をご参照くださいませ。

※ ご使用の環境・状況により異なりますので、あくまで目安としてお考えください。

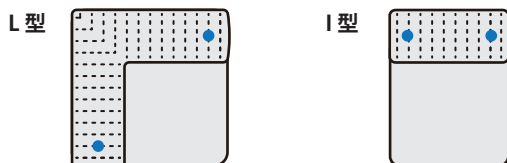
※ マジックテープのオス部分の引っかかりの力が弱くならないようにするため、また引っかかりによりカバーを傷める原因にもなりますので、カバー取り外しの際は**必ずカバー側のマジックテープの保護**を行なってください。

カバーの着脱方法

ピカソソファは座面底面のネジで、背もたれ部分を固定しています。

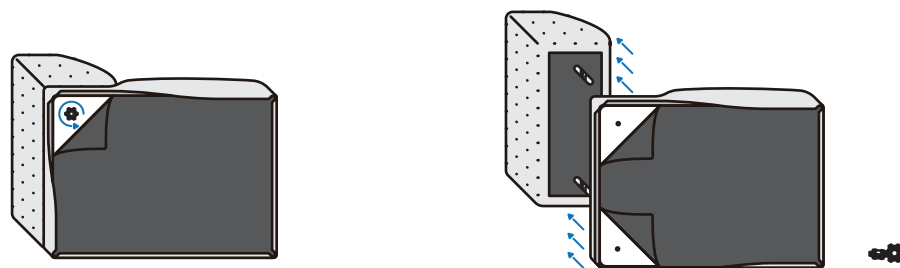
カバー着脱の際は、ネジを外し、背もたれと座面部分を取り外してからおこなってください。

● 下図の青丸の位置にネジがあります。



● 背もたれ部分の取り外し

1. 底面に固定しているカバーを外します。
2. 底面素材をめくると、ネジが見えるので外して下さい。
3. ネジを外すと、背もたれ部分を取り外すことができます。背もたれ部分を取り外し、カバーを着脱して下さい。

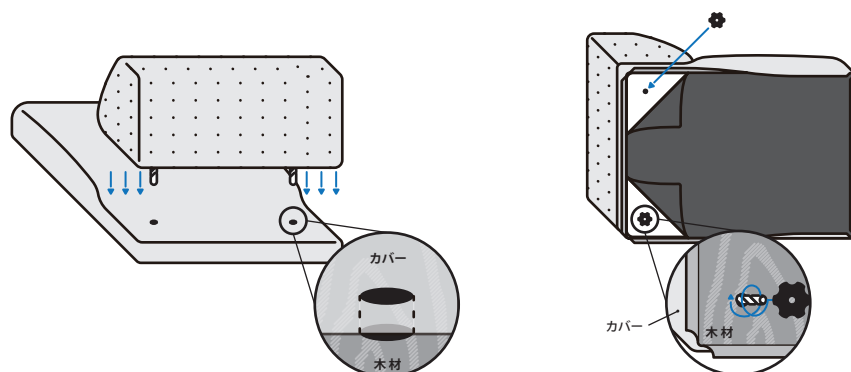


● 背もたれ部分の取り付け

1. カバー・座面の木材の穴に、背もたれ部分のネジを合わせます。きちんと穴に差し込むようにして下さい。
2. ネジを取り付け、底面素材・カバーを貼り付け整えます。

※ 穴の場所を確認してから差し込むようにして下さい。無理に行くとカバー・本体の破損の原因となります。

※ ネジがゆるいと破損の原因になりますので、しっかり固定して下さい。



ソファに設置について

ピカソソファは、裏面の素材、1台ずつを組み合わせたという特性上、フローリングや畳に直接設置をしていた場合にはソファが滑る可能性がございます。

ラグを敷いていただく、市販の滑り止めシートやゴムマット等を床面とソファの間に挟んでいただくことにより、滑りは軽減されます。

※ ソファと床面の間に滑り止めシート・ゴムマット等を挟んだ場合には、床面への付着やカビの発生を抑えるためにも定期的に交換や換気を必ず行うようにしてください。

※ 滑り止めシートは商品により溶けたり劣化する可能性がございますので、定期的な交換をお願いいたします。

ソファ底面について

ピカソソファの底面は市販のカーペットに多く使われるループパイル状のポリエステル素材で、湿気に強く通気性が高いのが特徴です。

この部分に、カバーのマジックテープを直接貼り付ける仕様となっており、それによりカバーの脱着や、ジョイント布を使用しソファ同士を固定することができます。

カバー等のマジックテープ脱着を繰り返し行うと、毛羽立ちが発生いたしますが、弊社では長期間使用いただいても問題ないとの判断によりこちらの素材を採用しております。

問題なくご使用いただける素材を採用しておりますが、長くご愛用いただけるためにも、カバー・ジョイント布脱着の際には、「**優しく丁寧に**」マジックテープを剥がしていただけますようお願いいたします。

※ 張り付き度合いは、新品時に比べると劣って参ります。マジックテープの引っかかりさえしっかりしていればカバーが滑るという可能性は低いため、上記素材を採用しております。

※ カバー取り外しの際は、**必ずカバー側のマジックテープの保護**を行なってください。

経年変化について

ウレタン、ソファカバーは**消耗品ですので経年劣化は免れません。**

ウレタンは、正常な範囲でのご使用であれば極端にへたってしまっても使えなくなる、ということはありません。

また、経年変化によりよれてしまい、ソファのへたりに見えることがあります。その場合は裏面のマジックテープ部分を引っ張りながら、カバーを整えてください。

木枠について

ピカソソファは、木枠を使用した設計となっております。

木枠、またネジやボルト部分の破損・劣化となりますので、下記のようなことは行わないでください。

- ・ソファの上で飛び跳ねる、座る以外の用途に使用すること
- ・ソファを落とす、ぶつける行為
- ・背もたれ部分に座ったり、立ったり等の背もたれ以外の用途に使用すること

その他、ご不明点やお困りのことがございましたらお気軽にご相談くださいませ。

ローソファ専門店 HAREM

住所：〒591-8004 大阪府堺市北区蔵前町 1-17-1

TEL：072-252-2625

E-mail：shop@harem-shop.com